

ナスとベーコン 餅グラタン

お正月食材でよく余ってしまうのが切り餅。そこで、寒い冬に思わず食べたくなる切り餅を使ったグラタンをご紹介します。

- (4人分)
 ○ 切り餅…6個
 ○ ベーコン…100g
 ○ 玉ねぎ…1個
 ○ しめじ…1袋
 ○ じゃがいも…3個

- ミートソース…1缶
 ○ 油…適量
 ○ 塩・こしょう…適量
 ○ とろけるチーズ…適量
 ○ パン粉…適量

1. グラタン皿に油を薄く塗り、そこに電子レンジで温めて皮をむいたじゃがいもをスライスして敷き詰める。



3. 1の上に切り餅と2で炒めたものをのせ、上から、ミートソース、とろけるチーズ、パン粉の順にかける。

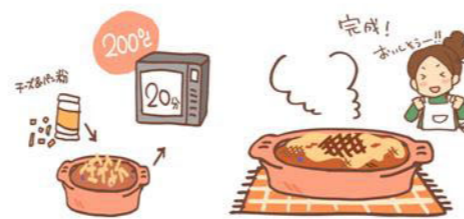


2. 玉ねぎはスライス、しめじは小房に分け、ベーコンとなすは適当な大きさに切って、フライパンで炒める。その後、塩・こしょうで味を整える。



♥味付けは、軽く味がする程度の薄味でOK!

4. 200℃に温めたオーブンで約30分程度焼いたら出来上がり!



♥ミートソースは、全体に均一にかかると美味しく仕上がります!

シニャン工務店 No.18



オール電化住宅

近年、よく耳にする「オール電化住宅」。オール電化住宅とは、調理や給湯、空調など、家庭内で用いるエネルギーすべてを電気で作る住宅のことで、地球温暖化が深刻な問題となっている現在、地球環境に配慮した「低炭素スタイル」の住宅として注目されています。

「シニャン工務店」作者様へ
 昨年中は、お世話になりました。ネタ探しに奮闘されることに感謝申し上げます。今年も宜しくお願い致します。
 期待してま〜す!! 担当N



そんなオール電化住宅に住む方は、火災のリスクの低さや室内の快適性、光熱費などを抑えられるという経済面で、非常に高い満足度を得ているそうです。

この魅力たっぷりのオール電化システムは、FPの家の特徴でもある「高断熱・高機密」な住宅との相性は抜群。

オール電化システムで室内環境をクリーンに保ちながらも、高断熱・高機密なつくりで外気温やお住まいの地域に関係なく、安定した室温を実現できるため、一年中快適に過ごすことが可能です。

その上、少ないエネルギーで効率的に室温を調節することもでき、とっても経済的。みなさんもこの機会に、FPの家のオール電化住宅で、これまで以上に快適な暮らしを手に入れてみてはいかがでしょうか。



風水で目指せ! 成績アップ 願いを込めて

子供のいるご家庭でよく話題になるのが、「子供の成績について」ですね。しかし、親が「勉強なさい!」と言ったところで、子供がやる気になるところか勉強嫌いにさせてしまうことも多いようです。

そこで、今回は、そんなご両親をお助けするべく、風水で成績アップを目指すという方法をご紹介します。

まず、大切なのは、勉強する上で欠かせない卓上ランプの形です。風水で、角張っているものはあまりよい影響を与えないとされているため、丸みのあるものを選ぶようにしましょう。

また、子供部屋もしくは、リビングの北東側の壁に山の絵を飾るといっても、学業運アップに効果があるといわれています。

さらに、東の方位は学業運の基本とされています。汚れていたり、散らかっていたりすると良い効果をもたらさないため、こまめに整理整頓することをおすすめします。



笑って笑って
ハイ!笑って



うちの姑のことなんですが…。キュロットスカートをはいている人を見て「なんで最近の女の子は、お尻にスカートをはきながら歩いているのかわからない。歩くと大変だろうに。わからんなあ、まったく…」とブツブツ言っている。

うちの父はとて口下手で、この前のお見合いで私を紹介する時に「娘は大変ふつつかです…」というところ、緊張のあまり、「娘は大変ふしだらですが…」と紹介された。翌日丁重に断られた。



先輩が、夜中にライトをつけずに自転車に乗っていた時、運悪くおまわりさんと遭遇してしまった。「おい! 無灯火!」とおまわりさんに注意されたのですが、先輩はそのまま無視しました。すると、もう一度「おい! 無灯火!」と注意してきました。先輩はムッとして「俺は斉藤だ!!!」

中2の理科の時間のとき、T君は「硫酸と食塩水を見分けるにはどうしたらいいか」という先生の質問に「ちょっとだけなめてみる」を自信満々に答えた。



予辞典 イニシャルコスト

「イニシャルコスト」とは、一般的に初期投資費用のこと。なかでも住宅建築の場合は、設計費や建設工事費など、家づくりの最初から完成までにかかる費用のことをいいます。イニシャルコストを抑えるためには、家づくりの際、さまざまな種類の材料を使用せずになるべく同じものを使用したり、色なども統一したりすることが大切です。

イニシャルコストに対して、住宅が完成した後にかかる費用のことを「ランニングコスト」といいますが、このランニングコストは、イニシャルコストの倍以上も費用がかかるといわれているため、家づくりの際は、トータルでどれくらいかかるのか見極めることが重要なのです。